

プロジェクトセンター/ウルトラファクトリー/産学公連携本部

プロジェクトセンター

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	高槻市都市緑化フェアポスターデザイン	2018.4～2018.8	高槻市産業環境部	第34回目となる高槻市都市緑化フェア（10/22開催）の集客増加を目指すため、チラシデザインのイメージを一新したいとの依頼を受けた。「育てよう潤うみどり 優しい心」をテーマに、小さな子どもがいるファミリー層や子どもをターゲットとして、明るく温かみのあるデザインを学生に自由に提案してもらい、コンペ形式で制作者を決定した。	1名	無
2	平和祈念展示資料館所蔵マンガ作品展	2018.4～2018.9	平和祈念展示資料館 (総務省委託)	平和祈念展示資料館から、若年層に向けた「引揚者」をテーマにした展示ができないかと依頼があった。引揚者の中には著名な漫画家が多く、その一人が描いた短編集を使用可能で、そのほかにも多数の作家の原画コピーを展示できるとのことだった。まずは本学の学生の興味を喚起することを目的にスタートした企画である。週1-2の定例ミーティングを重ねて「戦争」の「惨事」を伝えると必ず硬直してしまう戦後世代にとって戦争とは、引揚とは、を正面からぶつけるのではなく、マンガを通してその出来事のできるだけバイアスを取り除いて伝えられる展示をいかに行うかを話し合った。広報物は情報デザイン学科・マンガ学科が協力して制作し、展示会骨子のテキストはアートプロデュース学科が制作した。展示会場の制作においては設営を3学科で協力して行い、展示仕器、壁面の印刷物などは情報デザイン学科・マンガ学科が分担して担当した。	14名	無
3	粟田大燈呂プロジェクト	2018.4～2018.10	粟田大燈呂実行委員会	京都東山にある粟田神社。天保3年以前に途絶えたといわれる粟田神社の「夜渡り神事」を、180年ぶりにアートで復活させ今回で11年目となる。単なる制作だけではなく、神社や周辺地域の歴史・伝承等を調査、京都の歴史・芸術・文化を掘り下げ、そこから見えてくる日本人の感性を捉えなおし、モノづくりとはどういう事なのかを考察した。京都の、日本の祭りを再発見し、モノづくりにおける「モノがたり」が如何に必要であるかを経験、より一歩進んだグループワークを実施した。	45名	有
4	十夜祭	2018.4～2018.10	株式会社ji ji	毎年10月から11月にかけて全国の浄土宗寺院で行われる伝統行事、十夜法要。経典『無量寿経』に基づき、10日10夜にわたり不断念仏を称え阿弥陀さまのお慈悲に感謝を行うものであるが、現代では1日のみに短縮されたり、地域の人が集わず実施しない寺院も増えている。この大切な法要を、アートを通じて現代の感性で表現し、継承の形を模索しているのが「十夜祭 -JU YA FES-」。今回は仏教×ユースカルチャーをテーマとし、知恩寺・宝蔵寺を舞台に、学生と僧侶が10日間のフェスに向けて企画・制作・表現を企画した。	7名	有
5	フコクアトリウム空間プロデュース	2018.4～2018.12	富国生命・三菱地所	大阪駅前にある大阪富国生命ビルの地下1階アトリウム「フコク生命の森」の空間演出プロジェクト。夏の巨大壁画ではアボリジニーアートから着想を得た作品「進化の過程」を公開制作。ワークショップも開催し、多くの方にご参加いただいた。冬は一带のスノーマンフェスティバルに合わせ、クリスマスに贈られる巨大なポップアップカード作品「white gift」を制作。	21名	有
6	京都文化クラウドファンディング	2018.4～2019.3	株式会社Tomorrow Factory	古い文化、歴史を大切にしながら新しい「価値」を綿々と世に問い続けてきた、それが京都という街。本プロジェクトでは、そんな京都で学ぶ芸大生が新しいアイデアの商品化にチャレンジする提案型プロジェクト。しかし、商品化には多大な資金や企業の支援が必要である。ところが、現代ではクラウドファンディングを通して魅力を伝え、幅広く支援を集める方法がある。さらに高島屋京都店の全面的な協力のもと、第一線のバイヤーによるコメントとサポートをいただきながら本当に支持される商品づくりを目指した。またクライアント側には新しくできた「helture」というクラウドファンディングサイトを周知する事も目的となる。	13名	有
7	ミス・パールプロジェクト	2018.4～2019.3	株式会社カムデン	真珠の価値を若い世代に伝えることを目的とした5年目となるプロジェクト。今年度は世界一長いネックレスへと挑戦する布石の年として、さまざまな場所・人にアプローチを行った。恒例のミス・パールコンテストも継続。とくに1年生主体のプロジェクトチームで学園祭に向けた準備を行い、成功へと導いた。	26名	有
8	京焼 目利きプロジェクト	2018.4～2019.4	東山区役所	京焼きは、歴史と技術がある世界に誇る京都の文化であり、消費者のニーズに合わせて価格やオリジナリティ、製法など多彩なバリエーションを有する。しかし、京焼き以外の陶磁器と比較した知己に消費者に具体的に良さが伝えられておらず、特徴や違いなどを消費者が知らずに、店側の価格設定でのみ価値を測っている現状がある。そこで、学生達が窯元、販売店などをリサーチし、京焼を楽しんで「目利き」になってもらうために、イベントやパンフレット等で情報発信を行った。実際に、窯元や販売店を合計24軒取材しネットワーク作りや情報収集を行った。また、イベントの企画運営やパンフレット等の媒体制作も学生主体で行った。	10名	有
9	松江水燈路	2018.5～2018.9	松江観光協会	京造ねぶたを経験した本学学生が、松江水燈路で展示するねぶたの作り方に関するワークショップを行った。現地の方々へ教えながらも、本学メンバーも別でねぶたを制作するという二軸で走るプロジェクトとなった。完成した作品はまつりの入り口に展示され、絶好の撮影スポットとなった。	5名	無
10	『京都寺町三条のホームズ』アニメ化関連企画	2018.5～2018.11	AQUA ARIS株式会社 株式会社双葉社 京阪ホールディングス株式会社	作家の望月麻衣さんが執筆する「京都 寺町三条のホームズ」のアニメ化を記念したプロジェクト。京阪電鉄とコラボレーションしたスタンプラリーの企画について、スタンプ設置スポットの選定や交渉、そしてスタンプラリーシートの制作まで執り行った。また、ツイッターチームは、小説本編に出てくる京都の名所を散策し、その魅力をアニメの公式アカウントから発信して、視聴者の聖地巡礼にも貢献した。	6名	無
11	長栄マンションリフォーム (stamp!)	2018.5～2019.4	株式会社長栄	株式会社長栄が管理するマンションを学生のアイデアでリフォームするプロジェクト。学生は長栄のスタッフや施工業者の前でプレゼンテーションを行い、最優秀賞・優秀賞・特別賞が決定される。受賞作品は実際に施工され、市場で居住者を募集する。	20名	無
12	「長浜盆梅展」空間デザイン	2018.6～2018.12	長浜観光協会	滋賀県長浜市で毎年開催される「長浜盆梅展」は今年で68回目を迎えた。ピークの時は延べ15万人の来場があった本企画だが、近年は5万人を割り、3年連続で減少している。そこで本企画に新しい風を送り込みたいとして、長浜観光協会より依頼があった。これまで足を運ばなかった新規の客層をターゲットとし、「インスタ映え」を軸に学生ならではのアイデアで展示の工夫を施した。陰影を使った技法や来客の視線を考えた盆倍の見せ方はもちろん、休憩スペースのカフェの企画、関連グッズの制作にも携わった。	5名	無
13	産年坂観光絵地図看板制作	2018.6～2019.2	清水三丁目町内会	産年坂のふもと 瓢箪屋横に約40年前に設置された案内看板があるが、劣化しており地図案内としての機能を果たしていない。歴史ある街並みとして世界の観光客が訪れるにもかかわらず、他にも観光客に向けた案内板がなく、リニューアルを図りたいという依頼からスタートしたプロジェクト。現地のフィールドワークや地元の方々とのワークショップを重ね、洛中洛外図風の案内地図を制作・設置した。	8名	無
14	リスクマネジメントシステムPRツール制作	2018.6～2019.3	株式会社ハチオウ	株式会社ハチオウは産業廃棄物を取り扱う企業で、会社の工場において危険な箇所が多数ある。そのため、作業中にその環境化で起こりうるヒヤリハットを啓発する為のツールを制作した。納品したのは「まるだけ報告書」と呼ばれる書式データで、工場、事務所、の地図が書かれており、どの場所が危険が起こりやすいか、あるいは実際に危険が起こったかを毎日印をしていくツールである。	3名	無
15	院内カフェでの作品展示会	2018.6～2019.6	日本パプテスト病院	「健康なときから」訪れてもらう病院を目的とし、より多くの方へ認知度を高めるため院内カフェを兼ギャラリーとして無料開放し、本学、こども芸術学科1年生の作品を2クール毎の年2回で展示。来客の方に作品を観て楽しんでいただくことで、病院、当学の双方にとっても相互効果が得られる。	～10名	無
16	かかとのない靴下「つつした」の絵柄提案	2018.7～2018.12	樋口メリヤス工業株式会社	樋口メリヤス工業株式会社が発明した、どんな足の方にもフィットする靴下「つつした」。そのデザインを集めるプロジェクト。もともとデザイン提案コンペで行われたが、応募したすべての学生の案が採用され商品化。2018年末大阪梅田の阪急百貨店9階催事場において「日本ものづくり市」にて販売された。中でも優秀な作品はイベント以降も継続して同社ホームページにて、オンライン販売されている。	21名	無
17	カフェヴェルディ事業紹介パンフレット	2018.7～2019.2	株式会社ヴェルディ	株式会社ヴェルディが運営するカフェ・ヴェルディがBtoB専用で使用する会社案内のパンフレット制作。情報デザイン学科の学生が、実際にクライアントにインタビューをしたり、写真撮影まで行い、データの制作に取り組んだ。	5名	無
18	大原飯導寺神社社入り看板制作	2018.8～2018.11	左京区野村町 医療法人三幸会	左京区野村町にある鎮守の森として親しまれている飯導寺神社の歴史的文化的の保存をモニュメントの看板設置として左京区まちづくり活動支援交付金を活用して行いたいと制作相談を受けた。町内の活性化と歴史的文化的の保存を目的に、神社敷地内に絵入りの看板とその向かいにベンチを設置し、歴史に詳しい地域民が子どもたちにまちの歴史を語れるようにしつらえたいとのこと。歴史遺産学科と情報デザインの学科で連携したプロジェクトを行った。	3名	無

19	澁澤龍彦ダンス公演舞台セット制作	2018. 10～2019. 1	ATAMATOTE株式会社	1/11（金）12（土）にロームシアター京都と1/24（木）～27（日）に東京世田谷パブリックシアターにて、澁澤龍彦の「高丘親王航海記」というダンス公演が行われる。最後のシーンで高丘親王がベンガルトラに食われる展開があり、そのトラをねぶた形式で学生に制作してもらいたいと相談を受けた。サイズは、高さが2～3メートル程度、長さが5～6メートル程度的大型作品で、舞台上でダンサーが数人でトラを支えながら移動させようかと考えており、舞台上での運用を考慮したデザイン制作を行った。	-	無
20	南座看板の意匠制作	2018. 10～2019. 1	南座	南座は歌舞伎発祥とされる四条河原町にある400年の伝統を持つ京都でも由緒ある劇場である。その南座で2019年新春に行われる2つの公演のための一文字看板を描くプロジェクト。耐震補強工事を経た南座が新しくなり、新開場して初めてのお正月の記念すべき新春公演。プロの看板制作者でもなかなか味わえないような経験となり、お正月のこの地域は八坂神社への初詣のお客様もあるため、大変な賑わいがあり、学生が制作した看板を多くの人にみていただける機会となった。	26名	有
21	HAPii+2018 -ホスピタルアート-	2018. 10～2019. 3	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学附属病院の環境をアート・デザインの力でより改善するプロジェクト。10年目となる今回は、同病院に新たに竣工された「永守記念最先端がん治療研究センター」における陽子線治療室とそこへいたる地下廊下の施工を依頼された。主に子どもが使用する治療室という事で、子ども達が前向きに治療に通えるようなアイデアを求められた。メンバーは日々打合せを重ね、病院の治療器具をモチーフにしたキャラクター「プロトonz」を発案し、プロトonzと一緒に病気に戦ってくれるというストーリーも付随させた。一度の治療につき、プロトonzのスタンプを押すことができるスタンプとスタンプ帖も制作。完成披露会はメディアにも多数取り上げられた。	25名	有
22	Nasic災害時安否確認システムPR動画作成	2018. 11～2019. 3	(株) 学生情報センター	(株) 学生情報センターが取り扱う商品のPR動画を作成。災害発生時を想定した学校専用安否確認システムについて、その機能や運用イメージを2分間にまとめて映像化し、システムの販売促進を狙った。映像はYouTubeでの放映などを考慮し、使用する画像、音声などについての権利問題に対応しながら進められた。	5名	無
23	大山崎町「春のハートまつり」モニュメント制作	2018. 11～2019. 4	大山崎町商工会議会女性部	地図で見るとハートの形をしている京都府大山崎町。「ハートの町大山崎」をもっとたくさんの人に知って欲しいという希望から大山崎町商工会女性部がハートまつりを発案し、そのまつりのシンボルとしてハート型のオブジェ制作依頼があった。メンバーはまちのこどもたちに向けて布を染める染色ワークショップを開催し、その布を利用して、縦横2mサイズのオブジェを制作し。まつり本番に設置した。	4名	無
24	都をどり2019看板制作	2018. 12～2019. 4	実業広告社	2019年4月に公演となる都をどりの一文字看板の企画制作の依頼を受けた。南座において平成最後の公演となり時代の節目となる記念公演となる。このようなことから都をどりを主催する祇園甲部からは、あまり無難なデザインではなく大学の学生らしい斬新な発想を期待されており、提案した舞妓の後姿を看板中心に据えたデザインを採用いただいた。	15名	無
25	京都・東山花灯路2019	2018. 1～2018. 3	京都・花灯路推進協議会	2003年度より毎年3月に開催、京都の春先に行われる歴史的な文化遺産や風情ある景観・街並みを「灯り」と「花」で演出するイベント内の企画「大学のまち伝統の灯り展」に、本年度は美術工芸学科の学生4作品3点を出品。デザイン企画、制作、搬出入、スケジュール全般の管理を行った。（展示期間：3/8～17 展示場所：大谷祖廟参道）	4名	無
26	大塚国際美術館衣装制作	-	大塚国際美術館	名画の登場人物が着ている服を実際に着ることができる大塚国際美術館のイベント「アートコスプレフェス」。この衣装制作を手がけた。今年度は、ゴッホの作品をテーマとし、「ヒマワリ」や「自画像」をはじめ、「ジャガイモを食べる人々」「タンギー爺さん」「種まく人」「子守唄（ルーラン婦人）」「ガシエ博士の肖像」「オーヴェールの教会」の全9作品を衣装で表現した。	10名	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

プロジェクトセンター企画

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	学園祭見世物小屋プロジェクト	2018. 4～2018. 9	蒼山会	学園祭の大人気企画である「京造見世物小屋(おぼけ屋敷)」の企画、制作、運営ができるプロジェクト。京都の地で「人はなぜ怖いものに惹かれるのか」「本当の恐怖とは何か」をフィールドワークやグループワークで学び、企画の「軸」となるストーリーを作るところから始めた。蒼山会から補助金を受け、チラシ制作やPR動画を撮影・編集する広報チーム、世界観や設定を考案する脚本チーム、衣装・メイク担当、小道具・仕掛け作り担当、音・光の演出担当等に分かれて準備し本番はキャスト等も全員で取り組んだ。	47名	有
2	春秋座「アリスの森」プロジェクト	2018. 4～2018. 9	本学自主企画	春秋座でのおよこ向けダンス公演「不思議の国のアリス」の会場装飾を学生が担当。事前に公演の美術・振付を担当するダンサー森山開次氏のレクチャーを受け、こども向けのワークショッププランを学生が立案。学生がこども達にワークショップをし、一緒に製作したかざりを公演会場に設置。公演日に一般のお客様を迎え、公演の雰囲気盛り上げることができた。 飾りづくりワークショップ：2018年8月1日(水)、3日(金) 飾りつけワークショップ：2018年8月30日(木) 公演日：2018年9月1日(土)、2日(日)	16名	有
3	まか通12 -近代産業遺産アート再生プロジェクト	2018. 4～2019. 3	本学自主企画	東山区に眠る地域資源をアートで再生するプロジェクト。2018年度は「陶器まつり」「鍾馗祭」を前後期のメインイベントとし、前期の陶器人形展示はただ、例年のように陶器を作るだけでなく、東山において陶器がどのように使われているかを写真にした展示も行った。後期の、鍾馗祭では初めて、炊き出しを振る舞ったり、学内の和太鼓サークルに協力を要請してまつりを盛り上げてもらったりと、これまでにない動きで運営。結果的に過去最高の来場者数を記録した。	23名	有
4	京造イルミネーション	2018. 10～2018. 12	蒼山会	京都造形芸術大学の人間館入り口になる人間館の柱や大階段付近を灯りによってアートな空間に演出し、学生や地域の方々、また白川通を行き交う人たちにイルミネーションを楽しんでいただくプロジェクト。2005年から始まり2018年度で14年目を迎える。チームが一丸となって冬の京都造形芸術大学を色鮮やかに演出。また、プロジェクトは蒼山会からの活動補助をいただいております、蒼山会役員会からの意見も反映したデザインにしています。	25名	有
5	びわこホールプロジェクト	2018. 10～2019. 3	本学自主企画	2014年度に結んだ教育連携協定に基づく同ホールとの連携事業をリアルワークプロジェクト化し、本年が契約最終年度。「オズの魔法使い」の公演における舞台美術制作を学生が担当。また、プロの舞台スタッフとの協働の他、本学と同じく、この事業の連携大学先である立命館大学、成安造形大学の学生との交流も盛んに行われた。 公演日：2019年3月16日(土)	12名	有
6	台湾アート交流プロジェクト	2018. 11～2019. 2	アーバンアート	台湾と日本をアートをもって、現地学生との交流を深めるプロジェクト。毎年、旧正月に向けて行われる新年を祝うイベントにてテーマに沿ったオブジェを現地学生たちとの共同作業によって作製する。国を越えたつながりを人と人のつながりの次元にまで、このアート制作によって育むことを可能し、グローバルな時代だからこそこれからも必要とされるプロジェクトである。	16名	有
7	国際交流+project	2018年度前期及び後期	本学自主企画	交換留学生など学部所属する海外出身の学生と日本人学生による実践英語を鍛え、国際的視座を獲得するための交流プログラム。各学期に3つから4つのプログラムを計画し、企画打合せから実践まで、全ての工程の基本言語を英語で進行する。学内他の国際交流プログラムに興味がある、または参加したことがあるなど海外への興味関心を抱く学生へ向けた、実践的プログラムである。プログラムのアウトプットの質、例えば出展した作品の完成度などのみを評価するのではなく、計画から実行までのプロセスを全て英語で実行することに重きを置き、学生は英語力の強化と異文化における価値観の違いを基にプロジェクトを推進する能力を身につける。	42名	有

4-(1)-⑬ 産官学連携

ウルトラファクトリー企画

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	ヤノベケンジ東京ミッドタウン日比谷 Hibiya Festival 作品制作費	2018.3～2018.4	ヤノベケンジ (東京ミッドタウン)	2018年3月29日(木)にグランドオープンした、東京・日比谷の新名所「ミッドタウン日比谷」で、宮本亜門プロデューズによる観劇を身近にするイベント「Hibiya Festival」のシンボルオブジェとして、ヤノベケンジの女の子の彫刻《Flora》が展示された。4/26に宮本亜門が監修するオープニングセレモニーでお披露目された《Flora》は大観衆のもと迎えられ、その後会期中は、日比谷ステップ広場に展示された。学生は、作品の仕様変更に伴う制作作業及び展示設営に関わった。 「東京ミッドタウン日比谷 Hibiya Festival」 2018年4月26日(木)～5月20日(日) 会場：東京ミッドタウン日比谷	2名	無
2	ULTRA×劇団四季 CATSプロジェクト	2018.3～2018.8	-	2018年8月に東京・大井町に新設された「キャッツ・シアター」内を装飾する舞台美術の一部を劇団四季スタッフと学生が共同製作するプロジェクト。学生たちは劇団四季スタッフからの直接指導のもと、実際に劇場内に飾られるゴミのオブジェの内、約50点を製作。 『キャッツ』の舞台設定は都会のゴミ捨て場。人間の世界のもの猫から見れば大きく見えるため、実物サイズの3倍の大きさのゴミを製作する。 活動は春休み期間よりスタートし、使い捨てカメラや歯ブラシなどの小型ゴミ、カキ氷機やアラジンストーブなどの中型ゴミ製作を経て、4月以降は参加学生全員で4メートルにも及ぶオートバイの製作に取り組んだ。学生たちはウルトラファクトリーで製作したそれぞれの“ゴミ”を自らキャッツ・シアターに設置し、8月11日の初日開演時には学生が製作した大小さまざまな“ゴミ”すべてがキャッツ・シアターに飾られて観客を出迎えた。学生たちは劇団四季スタッフから製作技術を直々に教わり、自分達が製作したものが観客の目に触れて公演が始まっていく貴重な過程を経験した。	22名 Aチーム12名(単位認定有り) Bチーム10名(単位認定無し)	有
3	graf 蜀台製作	2018.4	有限会社デコラティブモード ナンバーズリー	大阪・中之島を拠点に家具・空間・プロダクト・グラフィックのデザインから食、アートにわたってさまざまな活動を行うgrafのプロダクト製作を請け負う。grafによるデザインの蜀台を、ウルトラファクトリーで金属加工の技術を学ぶ学生がスタッフの指導の下製作、納品した。本件は、プロダクト製品レベルの精度を学ぶ機会となった。	1名	無
4	ヤノベケンジグランフロント大阪 ART SCRAMBLE 作品設営費	2018.4～2018.5	ヤノベケンジ (グランフロント大阪)	グランフロント大阪の5周年を記念してキース・ヘリング、ヤノベケンジ、ファブリス・イペール、椿昇など国内外の著名アーティストの作品が会場内に展示された。ヤノベケンジの作品は駅前のもめきた広場で展示された《サン・チャイルド》、《ウルトラ黒い太陽》、《風神の塔 / Iitate Monster Tower》を始めとして、せせらぎテラスに《SHIP'S CAT》、ナレッジプラザでは《ジャイアント・トラヤン》他2点、計7作品のイベント内最大、最多数の展示であった。期間中には《ジャイアント・トラヤン》の稼動もあった。学生は主に作品の展示設営に関わった。 「グランフロント大阪 ART SCRAMBLE GRAND ART FES」 2018年4月26日(木)～5月13日(日) 会場：グランフロント大阪	1名	無
5	ULTRA EXPANTION	2018.04～2019.3	-	2018年秋の工房拡張に向け、工房内で使用する仕器を学生とともにリサーチ、設計、試作、実制作と段階を踏んで制作。工房内で実際に使用者となる学生が、使いやすさや使われやすさを検証しながら試行錯誤した。作られた仕器は新工房の設備として新たに取り入れた機材のリファレンスとなる要素も持ち合わせている。 また、フロアや建物を越えて4エリアにわたる工房のサインの刷新や、ウルトラファクトリーのロゴも学生との協働で制作した。	15名	無
6	淀川テクニック！！プロジェクト	2018.5～2018.9	-	ゴミや漂流物などを使い、様々な造形物を制作する淀川テクニックの柴田英昭が率いるプロジェクト。前半の活動で淀川河川敷でのフィールドワークと小作品の制作、合評を経験し、その後ワークショップや作品制作に移行。[WS]鳥取にあるレストラン「リットマルシェ」にて、レストランの待ち時間を楽しく過ごす目的として、漂流物を使った子供対象のワークショップを実施。学生はWSのヘルパーとして参加した。1人の子供に学生1人が担当し、2人で相談をしながら一つの作品を作り上げた。(2018年8月4日、5日開催) [作品制作]広島日野自動車株式会社を運営するコレクターから依頼され、自動車整備工場の廃材を使った2m程の「ひのっ子」というキャラクターの作品をウルトラの工房内で制作した。(2018年8月-9月)	12名	有
7	MASK「Open Storage 2018」展示設営	2018.5、2018.10	おおさか創造千島財団	大阪、北加賀屋の工場・倉庫跡に大型の美術作品を収蔵しながら展示する「MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)」で開催した「Open Storage 2018 一見せる収蔵庫」にてヤノベケンジ作品の展示設営を行った。 「Open Storage 2018」 2018年10月6日-8日 会場：MASK [MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA] 【関連イベント】 2018年10月8日「Open Storage 2018 シンポジウム 工場・倉庫・校舎からアートの実験場へその意義と可能性」	2名	無
8	ヤノベケンジ SHIP'S CAT NEXT	2018.5～2018.12	-	No.1,2,3,4,5,6の各案件を「ヤノベケンジ SHIP'S CAT NEXT」のプロジェクト内で学生とともに実施した。	19名	有
9	モバイル・シアター・プロジェクト	2018.5～2019.3	-	美術作家でありながら、演劇の世界に活動の場を広げるやなぎみわによるプロジェクト。2018年は高松市美術館で開催されるやなぎの個展に向けての活動となる。2011年より美術と演劇の融合プロジェクトとして劇場や野外での演劇公演を継続して活動してきたやなぎプロジェクト。Mobile Theater Project (モバイル・シアター・プロジェクト)と題した本年のプロジェクトでは、京都造形芸術大学のほか京都・高松・前橋・福島等の大学等5校がやなぎと連携協力し、美術館内で展示されながらハムレットを演じる小道具となる4機のマシンを制作。本学学生たちは各都市のチームとの遠隔ミーティングをしながらマシンの制作を補助したり、展覧会開催に向けた準備をやなぎと共に進め、さらに展覧会の搬入設営にも参加する貴重な経験となった。 「やなぎみわ展 神話機械」 会期：2019年2月2日(土曜日)～3月24日(日曜日) 会場：高松市美術館 美術館2階展示室 協力：京都造形芸術大学、京都工芸繊維大学ROBOCON 挑戦プロジェクト、香川高等専門学校、群馬工業高等専門学校、福島県立福島工業高等学校、一色事務所、堀内カラー 以降同展が、2019年内にアーツ前橋(群馬)、福島県立美術館(福島)、神奈川県民ホールギャラリー(神奈川県)、静岡県立美術館(静岡)を巡回予定。	3名	有
10	ULTRA SANDWICH PROJECT	2018.5～2019.3	-	名和晃平が主宰する、クリエイティブ・プラットフォーム「SANDWICH」における制作、企画、運営に学生が参加するプロジェクト。アーティスト、建築家、デザイナーなど、国内外からさまざまなクリエイターが集い進行する複数のプロジェクトに関わる。2018年は、ピアニスト・作曲家の中野公揮氏のコンサート“Lift”の舞台美術や、子ども服ブランド「familiar」神戸本店の新規オープンに伴う店舗内装などに2017年度参加生・2018年度参加生が年度を跨いで制作に携わり、内装や仕器のプランニングから制作まで幅広く関わった。また、2019年3月20日にオープンしたスターバックスコーヒー京都BAL店の出品作品、店舗内装や設営に関わった。同店とSANDWICHの取り組みは京都の新注目スポットとして話題となっている。 ■中野公揮コンサート“Lift”舞台美術 公演：スパイラルホール(東京) 2018年5月12日(土)-13日(日) ロームシアター(京都) 2018年5月18日(金) ■ファミリア神戸本店(オープン日：2018年9月8日) ■スターバックス京都BAL店(オープン日：2019年3月20日)	14名	有

4-(1)-⑬ 産官学連携

11	山本太郎×狂言プロジェクト	2018.5～2019.3	-	<p>京都の狂言師の茂山童司さんが2018年12月に茂山千之丞を襲名するときの襲名披露の舞台で使用した狂言の装束を描くことを主な目的として取り組んだ。学生は描く出す前は着物の図案のプランを考えたり、下絵を作成時には下絵のラフな線を引いたり、下絵に色をつけたりする作業も手伝った。また、一部の学生は実際の装束への着色なども手伝った。最終的には襲名披露の舞台で作品が実際に使用されているところも見学した。実際の作品が順を追って完成まで仕上がるところを体験できたのは貴重な経験となった。</p> <p>それ以外にもサモアの伝統的な布であるシアポーを使用した着物のデザインプロジェクトなども行った。</p> <p>■狂言師 茂山童司 三世千之丞襲名披露公演「花子」 日時：2018年12月23日（日）（装束制作） [その他] ■狂言師 茂山逸平「花子」扇 制作 「MUGEN∞能」 日時：2018年6月9日（土） 《夕顔とライン扇》制作 ■EVs+cafe 開催期間：2018年9月1日（土）～9日（日） ポケットモンスターキャラクターのコラボレーション作品制作</p>	6名	有
12	BYEDIT	2018.5～2019.3	-	<p>「編集」の力をつかひながら、モノはつくり、出来事やメディアを作り出すプロジェクト。毎週企画編集会議を行い、独自の切り口からイベントや冊子、ウェブサイトなどを企画、制作する。2018年度は、ウルトラファクトリーの新フロアのリサーチと発信ツールの作成が企画され、成果物としてウルトラファクトリーの工房内の椅子の特集ペーパー「STORY of 33 CHAIRS IN ULTRA」を発行したほか、ウルトラの年刊誌「THE ULTRA」の記事の企画・編集・執筆を担当した。</p>	7名	有
13	kumagusukuプロジェクト	2018.5～2019.3	-	<p>京都の宿泊型アートスペースkumagusukuでのさまざまな活動に参加するプロジェクト。運営が始まって4年目を迎えたkumagusukuの共用部分や客室の什器メンテナンス、建築のミニリノベーションに積極的に関わるほか、アーティストの作業場や工房などものづくりの場から産まれた「副産物」を販売する「副産物産店」（東急ハンズ京都店6月1日～10日）で出店）や、アーティストの制作と住環境をより面白くするための企画BASEMENT KYOTOの物件についての修復、敷地内の建造物の設計と施工を学生メンバーが担当した。</p>	25名	有
14	Japan Handmade	2018.5～2019.3	-	<p>西陣織の老舗、株式会社細尾が所蔵する江戸時代からの手書きの帯図案約2万点をデジタルアーカイブ化し、伝統素材を世界のラグジュアリーマーケットで戦う武器へと変換していくプロジェクト。</p> <p>2019年秋冬発売のファッションブランドFURLAと細尾のコラボレーション商品企画においては、バッグデザインの為の図案選定からデザイン原案まで関わることができ、学生たちの活動成果が目に見える展開に広がる年度となった。また、細尾の事業展開の中で帯図案から着想を得たお菓子の商品開発プロジェクトに学生が関わり、コンセプトからパッケージにいたるまでを提案、プロジェクトは進行中。</p>	12名	有
15	ULTRAxANTEROOM exhibition 2018 協賛金	2018.7～2018.8	UDS株式会社 ホテルアンテールーム京都	<p>京都のアートやカルチャーの発信をコンセプトとする「ホテルアンテールーム京都」の依頼により展覧会を企画、開催。アート関係者やアートに興味のある人たちが集まる場所柄、本学出身の作家の広報と、若手の発表と育成の場となることをねらい、「ULTRA x ANTEROOM exhibition 2018 Re:Traffic」を開催。</p> <p>1996年にニコラ・プリオーがキュレーションし、現代アートの転換点となった展覧会「Traffic」展のオマージュとして「関係性の美学」に焦点を当てた展覧会となり、ホテルの宿泊客や美術関係者に好評を得た。</p> <p>「ULTRA x ANTEROOM exhibition 2018 Re:Traffic」 会期：2018年8月17日（金）～9月24日（祝・月） 会場：ホテル アンテールーム 京都 GALLERY9.5（京都府京都市南区東九条明田町7番） 出品作家：石黒 健一/市川 チュン/春澤 龍平/檜皮 一彦 [トークイベント] 9月8日（土） 登壇者：見増勇介/堤拓也/仲村健太郎</p>	なし (卒業生3名)	無
16	NISSHA共同研究 (newnaw)	2018.10～2019.3	日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社	<p>印刷業を中心にさまざまな事業を展開している日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社と、同社の持つ高い「布」への昇華転写技術（Fabright）を用いた新たな利用法をリサーチし、プロトタイプ制作を行う共同研究を行った。本件は情報デザイン学科教授の服部滋樹先生より持ち込まれた案件で、学生11名が参加。服部先生および情報デザイン学科非常勤講師、中家寿之先生が、学生指導にあたった。研究は、服部先生が代表を務めるgrafのデザインメソッドに則って進め、工房の機材を活用しプロトタイプ制作を行い、成果発表として、プロセスおよび成果物の展示を開催した。</p> <p>「newnaw Exhibition 2019」会期：3月25日（月）～4月13日（土） ※一般公開日は4月13日のみ</p>	11名	有
17	ヨタの研究所	2018.10～2019.3	-	<p>現代アートユニットYottaの個展〈ヨタの鬼セレブレーション〉が京都文化カプロジェクトの一環で開催された。また、〈ARTISTS' FAIR KYOTO 2019〉への参加等、京都での企画が重なり、アーティストが社会や行政と連携しながら、どのように作品や企画を作っていくのかを京都造形大学の学生に見てもらった状況が生まれやすかったこと、そしてyottaも新しい世代と共に創造する事に可能性を感じていた事などから、ウルトラプロジェクトとして実施する運びとなった。</p> <p>■ やんばるアートフェスティバル 2018 - 2019 会期：2018年12月15日（土）～2019年1月20日（日） 会場：大宜味村立旧塩屋小学校 他 《殺（たなつ）》《ヨタのチャンプレイグラウンド》 ■ヨタの鬼セレブレーション展（「京都文化カプロジェクト」実行委員会事業） 会期：2019年2月16日（土）～3月17日（日） 会場：ロームシアター京都 ローム・スクエア 《金時》《花子》《殺（たなつ）》《ヨタの青空カラオケ》</p>	14名	有
18	史跡整備に伴う3D模型作成	2018.12～2019.2	日本庭園・歴史遺産研究センター	<p>宇治市が進める「太閤堤跡」歴史公園の整備に関わる受託案件。豊臣秀吉が16世紀末に宇治川沿いに築造した「太閤堤」と呼ばれる土堤の史跡再現資料として、現存する史跡の3Dデータをもとにし50分の1の3D模型を工房内の3Dプリンターで制作した。</p>	2名	無
19	明和電機マspro芸術実践編	2019.2	-	<p>アートを大量生産（マsproダクト）や大衆伝達（マsproモーション）することで、その芸術思想を世に広めている明和電機。5日間のこのプロジェクトでは、実際の商品開発のプロセスを体験することで、「マspro芸術」の本質と、それを実現するためのさまざまなデジタル工具や工作機械の使い方を学ぶ。また、各日午前中はアーティストに必要な量産の知識や著作権、契約書などの実務について全5回の講義を実施。大学の授業では体験できない、リアルなクリエーション・ビジネスを体験する。</p>	6名	無
20	ヤノベケンジWeBaseKyoto 《シブスカット トーテム》制作費	-	ヤノベケンジ (株式会社レーサム)	<p>ヤノベケンジと、手漉きの和紙による作品を展開するアーティスト 堀木エリ子氏が共作した作品部を中心に展示する「SHIP' S CAT」展がフランス・パリ市のカルーゼル・デュ・ルーブルで開催された。本展覧会は、日本政府が主催する「ジャポニスム2018」参加企画事業であり、京都市の後援によって実施。学生は作品の原型制作から完成までの過程の中で、手漉き和紙の職人の工房での制作も経験し、領域を横断したプロの現場で実践的な制作経験を積んだ。</p> <p>「SHIP' S CAT」展 開催日程：2018年8月22日（水）～28日（火） 開催会場：カルーゼル・デュ・ルーブル内（サル・スフロ、ホワイエ）99 rue de Rivoli 75001 Paris 主催：学校法人 瓜生山学園 京都造形芸術大学・株式会社レーサム</p>	19名	有
21	ヤノベケンジ 上海《シブスカット セーラー》制作費	-	ヤノベケンジ (sage house business consultancy ltd. 上海)	<p>日本全国での作品展開を続ける《SHIP' S CAT》作品シリーズの新作として、中国 上海の商業施設JOY CITYにて常設展示となった作品《SHIP' S CAT (SAILOR)》の制作を行った。2017年度のヤノベプロジェクトに参加した学生の内、有志の2名が、スケジュール管理から実際の制作まで一手に担い完成させた。</p>	21名	有
22	ヤノベケンジWeBaseTakamatsu《シブスカット リターンズ》制作費	-	ヤノベケンジ (株式会社レーサム)	<p>博多、鎌倉、京都に引き続き、外国人旅行者に対して日本の文化体験も可能な宿泊施設として展開するWeBaseホテルのシンボルオブジェとして香川県高松市に新たに2018年12月1日にオープンしたWeBaseTakamatsuに常設展示される《SHIP' S CAT (RETURNS)》の制作及び展示設置を行った。作品原型は3Dモデリングデータを活用し制作され、工房内の新機材の活用モデルもなった。</p>	19名	有

4-(1)-⑬ 産官学連携

23	ヤノベ福島サンチャイルド修復・設営	-	福島市／福島自然エネルギー基金	2011年の福島第一原子力発電所事故の後、東北の復興に向けて美術には何ができるかの問いを繰り返しながら制作された作品《サン・チャイルド》が、福島市長の要望で福島市に寄贈されることとなった。福島県福島市「こむこむ館」に展示するまでの《サン・チャイルド》の作品修復をヤノベプロジェクトの学生が担当した。同作品は2018年8月3日に設置され、同年8月28日に撤去決定した。ヤノベは、作品に対して巻き起こった社会の声について学生と対話する機会を設け、現代社会における美術のあり方を考えるきっかけとなった。	19名	有
----	-------------------	---	-----------------	--	-----	---

4-(1)-⑬ 産官学連携

産学公連携本部

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	ワンソース・マルチユースプロジェクト第6弾 「ハイキュー!!展 ゲンガ×タイカン」カフェプロジェクト	2018. 2～2018. 4	株式会社ムービック 株式会社東北舎	2018年4月14日(土)～4月29日(日) 週刊少年ジャンプの超人気マンガ『ハイキュー!!』。作品の舞台である宮城県仙台市で、初めての大規模原画展となる「ハイキュー!!展 ゲンガ×タイカン」が開催された。本学は今回の「ハイキュー!! 展 ゲンガ×タイカン」にワンソース・マルチユースプロジェクト第6弾として「カプセルカフェバー サンオー」の店内を「ハイキュー!!」一色にインテリアデザイン。また、ここでしか味わうことのできないオリジナルメニューを考案し、「ハイキュー!!」の世界観をカフェプロジェクトを通じてコンテンツ産業の最前線を学んだ。	20名	無
2	ワンソース・マルチユースプロジェクト第7弾 「君に届け展～すべての君に届け～ in 京都」	2018. 4～2018. 6	株式会社ムービック	2018年5月18日(金)から6月3日(日)まで、京都造形芸術大学人間館1階ギャリ・オーブにおいて「君に届け展～すべての君に届け～ in 京都」を開催。2009年、2011年にはテレビアニメが放映、2010年には実写映画化されるなど、“君届ブーム”を巻き起こした本作。展示では、主人公の爽子や風早が過ごした高校3年間を振り返りながら、美しいカラーイラストや本編の原稿を展示した。また、キャラクターデザイン学科の学生がプロジェクトチームとしてフード・デザート・ドリンクの3チームに分かれ各自メニュー考案を行い、来場者からの好評を得た。また、学生考案によるフォトスポットも登場し、TwitterやInstagramなどで記念撮影された写真が多数投稿された。	20名	無
3	WeBase京都 ログデザイン業務委託契約	2018. 4～2018. 8	株式会社レーサム	10月27日(土)に開業した、世界中のツーリストに旅の思い出と人と地域を繋げるコミュニティホテル「WeBase 京都」のログデザインをキャラクターデザイン学科の学生が担当した。	3名	無
4	WeBase（鎌倉・博多・京都）におけるロゴ（ピクトグラム）の知的財産権売買契約	2018. 4～2018. 8	株式会社レーサム	WeBase（鎌倉・博多・京都）におけるロゴ（ピクトグラム）の知的財産権売買契約を締結。	-	無
5	亀岡市「霧の芸術祭」に向けた拠点形成プロジェクト	2018. 4～2019. 3 (2019年度も継続)	亀岡市	亀岡市で計画中の「かめおか霧の芸術祭2020」に向け、地域の有する魅力や資源を可視化し、人的・物的資源をネットワーク化することにより、新たな価値の創造を行うことを目指して、活動拠点の整備（KIRI CAFE）を行い、そこを拠点に地域・大学・国内外関係者のネットワークの構築を行う。主な事業は次の4点）KIRI Cafe（人が集まれる拠点形成）（2）KIRI Wisdom（かめおか霧の芸術祭の企画の素材となる「知恵」を収集する講座）（3）KIRI ⁺ 芸術大学（4）KIRI マルシェ。	30	無
6	世界チャンピオン 村田諒太 栄光への軌跡	2018. 7～2018. 8	自主企画	ロンドン五輪ボクシングミドル級金メダリストであり、WBA 世界ミドル級王者・村田諒太という世界最高峰のボクサーを被写体とし、『パンチを予見する男』と呼ばれ、世界一のボクシング・カメラマンとの呼び声も高い写真家・福田直樹氏の写真展「囁目（しよくもく）」をプロデュース。美麗な写真によって、村田諒太という稀代のボクサーが持つ魅力、そしてボクシングの持つ芸術性を余すところなく紹介した。また、7月28日、京都芸術劇場 春秋座にてオープニング記念トークイベントを開催。福田直樹氏・村田諒太氏のお二人に加え、小学生の頃から福田氏と親交があり、一ファンの域を超えたボクシング愛で知られる俳優の香川照之氏もお招きしての記念イベントに多くのボクシングファンが訪れた。	10名	無
7	NHK ヤングナフェス2018 イラスト制作費	2018. 10～2018. 11	日本放送協会	NHKとの産学公連携プロジェクトとして、11月25日(日)24時5分～25時4分に、NHK総合（放送エリア：近畿）放送のイベント「ヤングナフェス2018」の、メインビジュアルとなるロゴとアニメーションを手掛けた。	1名	無
8	DAIHATSU 心斎橋角座	2018. 10～2018. 12	松竹芸能株式会社	松竹芸能 「心斎橋角座」のリニューアルオープンのためのロゴ制作を担当。記者発表にて新ロゴを発表、制作学生も参加した。	3名	無
9	総合文化祭 台本作成業務	2018. 10～2019. 3	第39回近畿高等学校総合文化祭京都府準備実行委員会	本学が2019年度に開催される「第39回近畿高等学校総合文化祭」開会式の総合プロデュース業務を受託しており、2018年度はその台本作成業務を受託。	-	無
10	天草市素材映像制作事業業務委託	2018. 10～2019. 3	天草市	天草市で撮影を行った映画『のさりの島』の縁を契機に、天草市で今後様々な用途に使用できる天草の魅力や可視化する映像素材の制作を市内中高生への教育講座を兼ねて実施することで、地域に誇りを持ち、地域を担う人材育成に寄与することも目的に実施。納品物は(1) 天草市の魅力や可視化する映像素材の制作、(2) (1)と合わせて市内中高生への教育講座の開講。	20	無
11	青森市平成30年度文化芸術資源活用交流事業 業務委託契約の締結	2018. 11～2018. 12	青森市	本学と青森市は、2016（平成28）年に、「京都造形芸術大学と青森市の包括的な連携に関する協定書」を締結し、地域の課題に適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展及び将来的に必要なとされる人材育成に寄与することを目的とし、様々な事業を協働して行っている。本件は、2020年度の次期「AOMORIトリエンナーレ」に向けた、青森市民に対する芸術資源を活用したワークショップおよび企画業務。教育普及を推進するために、地元小学校での2校のワークショップを実施。	-	無
12	UHA味覚糖×京都造形芸術大学商品開発プロジェクト第2弾	2018. 12～2020. 2	味覚糖株式会社	味覚糖株式会社との商品開発の第2弾。コーポレートメッセージ「おいしさはやさしさ」を具現化し、京都の魅力や可能性をお菓子のおいしさによってどのように多くのみなさんに気づいていただけるかをテーマに、商品企画を行う。	6	無
13	タツタ電線 PEEK素材の先端可動型カニューレの試作方法の研究開発	2018. 12～2019. 3	タツタ電線株式会社	タツタ電線株式会社からの依頼を受け、電線技術を応用したPEEK素材の先端可動型カニューレの試作方法の研究開発を受託。ULTRA FACTORY設備（レーザーカッター）を活用し、研究開発を担当。	-	無
14	タツノコジェニックアート展	2019. 1～2019. 2	デイリーインフォメーション 関西	株式会社デイリー・インフォメーション関西からの依頼を受け、2/22～3/3 本学人間館エントランスラウンジにて開催される「タツノコジェニックアート展」の制作作業並びに施工作业について受託。	10名	無
15	HAPPY WOMAN FESTA KYOTO 2019 京都芸術劇場	2019. 1～2019. 2	株式会社産経新聞社	国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）No.5「ジェンダー平等を実現しよう」の推進を中心に、女性のエンパワーメント推進及び社会活性化を目指すイベント「HAPPY WOMAN PROJECT」を開催。また、本学在学学生を対象とした「就活生対象のメイク体験講座」も実施した。	-	無
16	松竹芸能 マラソンチラシ制作費	2019. 2～2019. 2	松竹芸能株式会社	「やる気！元気！森脇健児！～ファンダフルリレーマラソン in 京都 2019」のチラシ制作を受託。	1名	無
17	京都STEAM ULTRA FACTORY漆ワークショップ	2019. 2～2019. 3	KYOTO STEAM -世界文化交流祭- 実行委員会	漆を究め、漆を科学する佐藤喜代松商店による、漆工芸のワークショップを京都造形芸術大学の共通工房「ULTRA FACTORY」で開催。このワークショップは、芸術×科学から生み出される新しい挑戦を行う「KYOTO STEAM-世界文化交流祭-」とのコラボレーションで行われ、本学の学生8名が参加。さまざまなモノづくりを支える「漆」の基礎を体験するだけでなく、伝統工芸に学生の視点を取り入れ、「漆×○○」で漆の新たな可能性を探求した。	8名	無
18	京都STEAMシンポジウム	2019. 2～2019. 3	KYOTO STEAM -世界文化交流祭- 実行委員会	本学と電通関西京都支社からの働きかけで、KYOTO STEAM実行委員会平竹総合プロデューサーに対して、事業創発をする仕組みを提案。その考えを発信するため、岡崎地区京都モダンテラスにて、シンポジウムを開催。このシンポジウムでは、STEAMの考え方を解き明かしつつ、KYOTO STEAMからつながる新たな社会イノベーションの未来について語った。	-	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

アート・コミュニケーション研究センター

アート・コミュニケーション研究センター受託関連

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	出張授業参与観察	2018. 4. 1ー3. 31	大阪府立江之子島文化芸術創造センター/enoco	大阪府江之子島文化芸術創造センターが展開しているenocoコレクションキャラバン事業プログラムのブラッシュアップを目的に、出張授業の参与観察、次年度以降の事業に関する提言を行った。	—	無
2	総合職2級昇格者研修	2018. 5. 22ー23、6. 26ー27	住友理工株式会社	住友理工株式会社の総合職2級昇格者を対象とした階層別研修に、本センターの伊達と岡崎が登壇した。「対話型リーダーシップ」をテーマとし、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	—	無
3	対話型鑑賞プログラムACOP体験会	2018. 6. 8	株式会社日本マンパワー	株式会社マンパワーのクライアント向け研修体験会に、本センターの岡崎が登壇し、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	—	無
4	5年組合員研修	2018. 6. 9	小泉産業グループユニオン	小泉産業グループユニオン主催の「5年組合員研修」に、本センターの岡崎が登壇した。業務に直接関わる知識の獲得よりも、参加者に内発的な気づきや知的な刺激を持ち帰っていただくことを目的とし、講義とワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	—	無
5	社内公募型研修「@（アット）」	2018. 6. 30ー7. 1、8. 25ー26、2019. 1. 26ー27、2. 23ー24	パーソルホールディングス株式会社	パーソルホールディングス株式会社主催の社内公募型研修「@（アット）」は、「遊ぶように学ぶ」というコンセプトのもと、NPO法人や社外企業と連携し、課題解決ワークショップやアート鑑賞、演劇など、社員研修としては珍しい手法も取り入れながら、変化に合わせて自律的に挑戦する社員の育成を目指している。同研修に伊達と岡崎が登壇し、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	—	無
6	愛媛県美術館・博物館・小中学校共働による人材育成事業	2018. 7. 14ー2019. 3. 31	愛媛県美術館	本学アートプロデュース学科・アート・コミュニケーション研究センターでは、2015年度より愛媛県美術館が行っている「愛媛県美術館・博物館・小中学校共働による人材育成事業」に、外部専門家として協力している。同事業は対話型鑑賞を小中学校の教科教育に応用し、新学習指導要領に対応する指導法の開発・普及を目的としている。今年度は同事業の定例会議において、助言を行った。	—	無
7	大手エレクトロニクス会社向け研修	2018. 7. 25	株式会社ドリームインキュベータ	株式会社ドリームインキュベータからのパートナー提携案件。大手エレクトロニクス会社向けの研修に本センターの福、伊達、岡崎が登壇した。「多角的な視点、具体⇄抽象の思考法、他者の考えを受け入れられる柔軟な発想」をテーマに、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	—	無
8	ワクワク！対話型鑑賞ワークショップ ぎもん？はっけん！探検隊 -きみはアートと仲間になれるかな？-	2018. 8. 24ー25、9. 1	豊中市	豊中市主催の展覧会「豊中市所蔵作品展 Good morning」（2018/8/11ー9/2）において、本センターの青山と本学アートプロデュース学科の学生によるプロジェクトメンバーが、対話型の作品鑑賞プログラムを開発・実施した。	ASP学科学生4名	無
9	鑑賞型研修	2018. 9. 3	マニユライフ生命保険株式会社	マニユライフ生命保険株式会社のリーダーシップ研修に本センターの伊達、岡崎が登壇した。クリエイティビティをテーマに、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	—	無
10	オムロンソーシャルソリューションズ株式会社「コンセプトチュアルスキル開発研修」	2018. 9. 14	株式会社日本マンパワー	株式会社日本マンパワーからのパートナー提携案件。オムロンソーシャルソリューションズ株式会社の「コンセプトチュアルスキル開発研修」に本センターの岡崎が登壇し、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	—	無
11	『「なにわの企業が集めた絵画の物語」展』鑑賞プログラム	2018. 10. 4ー18	関西経済同友会	関西経済同友会主催の展覧会「なにわの企業が集めた絵画の物語展」において、本学アートプロデュース学科・アートコミュニケーション研修センターが、小学生3～5年生を対象とした対話型鑑賞プログラムの監修を行った。	ASP学科学生8名	無
12	OpenStorage2018「鑑賞プログラム」	2018. 10. 6ー7	一般財団法人おおさか創造千島財団	一般財団法人おおさか創造千島財団主催の展覧会「OpenStorage 2018」（10/6ー8、11/11）において、本学アートプロデュース学科・アートコミュニケーション研究センターが協力し、昨年度に引き続き対話型の作品鑑賞プログラムを開発・実施した。	ASP学科学生3名	無
13	日本労働組合総連合会大阪府連合会「次世代リーダー研修」	2018. 10. 12	株式会社日本マンパワー	株式会社日本マンパワーからのパートナー提携案件。日本労働組合総連合会大阪府連合会の「次世代リーダー研修」に本センターの岡崎が登壇し、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	—	無
14	新入社員総まとめ研修	2019. 1. 22	住友理工株式会社	住友理工株式会社の新入社員を対象に「新入社員総まとめ研修」と銘打った1日間の研修を実施した。研修の目的は「これまでの経験を振り返り、自分の行動について考え、今後周囲の人と仕事をする術を知る」「常にPDCAサイクルを繰り返し、自律的に学び続ける習慣を身につける」とし、当日は伊達と岡崎が「みる・考える・話す・聴く」をテーマに、講義と複数のワークショップを行った。	—	無
15	ダイハツ労働組合「夢創塾」	2019. 2. 2	株式会社日本マンパワー	株式会社日本マンパワーからのパートナー提携案件。ダイハツ労働組合の「夢創塾」に本センターの岡崎が登壇した。「リーダーシップ」をテーマに、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	—	無
16	「コミュニケーション能力向上プログラム」	2019. 2. 14ー15	千島土地株式会社	千島土地株式会社の「コミュニケーション能力向上プログラム」に本センターの岡崎と三重野が登壇した。レクチャーとワークショップに加え、「MASK（MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA）」に保管されている大型現代アート作品を用いて、ACOPによる鑑賞を行った。	—	無
17	チーム合宿	2019. 3. 15	株式会社クニエ	株式会社クニエのチーム合宿に本センターの岡崎が登壇した。「建設的な問いが生まれる組織コミュニケーションの実現」を目的に、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	—	無

アート・コミュニケーション研究センター主催事業

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	阪大ELSIプロジェクト	2018. 4. 1ー2019. 3. 31	委託機関	2016年度より、大阪大学、京都大学と研究開発プロジェクト「先端生命科学を促進する先駆的 ELSI アプローチ」を進めている。2018年度は、先端生命科学における倫理的課題に関して、一般市民の声を集めることを目的としたプレワークショップを開発・実施した。	—	無
2	対話型鑑賞講座 入門編、ファシリテーション編、実践編	2018. 8. 11ー12、9. 1ー2、2019. 3. 2ー3	-	能動的学習「アクティブラーニング」や、AI時代を生き抜く創造力やコミュニケーション力育成に対する社会の関心が高まっている近年、ACOPはそれらを実現する学びの手法として注目されている。こうした状況下、対話型鑑賞への理解だけではなく、これを各々の現場で実践・活用したいというご要望に応えるため、「対話型鑑賞講座」を開催した。	—	無
3	免許状更新講習「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」	2018. 8. 17ー19、2019. 1. 12ー14	-	2009年、2011年～2016年に引き続き、2017年度も、「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」と題し、本学を会場に開催。講師として本センターから、福、伊達、北野、岡崎、青山の5名が参加。また三重県総合博物館館長である大野照文氏を招き、美術教育、理科教育、臨床心理学と、多様な視点から「コミュニケーション」をテーマにレクチャーやワークショップを実施した。	ASP学科学生3名	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

プロダクトデザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	盲導犬とそのユーザーのためのデザイン	2018. 4. 1～2018. 7. 31	関西盲導犬協会	盲導犬とそのユーザーに対する道具は、初めて製作されたときから その姿をほぼ変えていない。その中で彼らが感じているこの社会は、どのようなものなのだろうか。そのことをリサーチして分析し、自らも当事者となって、デザインをするプロジェクト。	10名	有
2	企業研究II	2018. 4～2019. 3	有限会社中村ローソク	京都の老舗和蠟燭工房「中村ローソク」と、コラボレーションによる商品企画提案プロジェクト「灯りを考える」を1年間にわたって実施した。和蠟燭はハゼなどの植物由来の原料を使用しており、パラフィンを用いる一般の蠟燭にはない、揺らぎや暖かみがあるのが特徴である。伝統的工芸品である和蠟燭は、現代の生活ではだんだん使われなくなってきた。そこで、学生5人がプロジェクトに参加し、リサーチを行い、新しい使用シーンを発見し、アイデアを展開して、商品案のデザイン、制作を行った。	5名	有
3	PDプロジェクトⅢ、Ⅴ2018前半授業として実施	2018. 9. 25～2018. 11. 18	ダイキン工業株式会社	授業としてダイキン工業（株）の指導を受けながら共同開発を実施、テーマとして設定した「人のアクティビティを探索することから次代の空間環境並びに空質とその在り方の提案」を開発、実施に際しては、毎回先方からエキスパートの方々によるきめ細かな指導がなされ、トップ企業の第一線のデザイン開発内容を把握修学することが適い、社会実装力の修学に繋がった。併せてこの機会を通して就職へのきっかけが図られ1名の内定に繋がった。成果物としてデザインモデル、レンダリング、説明資料を制作した。	2, 3年生16名	有
4	プロダクトデザイン総合Ⅳ A	2018. 9～2019. 2	エレコム株式会社	エレコム株式会社は、パソコンやスマートフォンなどの周辺機器メーカーの最大手であり、それらのデザイン、アイデアで他社をリードしている。スマートフォンは現在の大学生にとって必需品になっている。そのスマートフォンのより新しい使い方を考案し、便利に使う周辺機器をエレコムに対して提案を行った。ターゲットを大学生にし、スマートフォンを活用する今までに無いシーン、使い方の提案をして、その際に一緒に使用する周辺機器・アクセサリを同時に提案した。だいたい1年後に商品化できる（ほぼ技術的なメドのたっている）商品化可能なアイデアとして検討を行った。	11名	有
5	PDプロジェクトⅢ、Ⅴ2018後半授業として実施	2018. 11. 25～2019. 1. 18	ソニー株式会社	授業としてソニー（株）の第一線のデザイナーからの指導を受けながら共同開発を実施、テーマとして設定した「人のアクティビティとその空間環境から考察する次代のAVCの在り方」を開発、実施に際しては、毎回先方からエキスパートの方々によるきめ細かな指導がなされ、トップ企業の第一線のデザイン開発内容を把握修学することが適い、社会実装力の修学に繋がった。併せてこの機会を通して就職へのきっかけが図られ難関のソニー（株）へ1名の内定に繋がった。成果物としてデザインモデル、レンダリング、説明資料を制作した。	2, 3年生16名	有

情報デザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	駅ナカアートプロジェクト	2018. 1～2018. 6	京都市交通局	「フォトジェニックな駅」をテーマに、地下鉄利用者にユニークで写真映え（美しい、かわい、インパクトがある、楽しい）のする駅から情報発信することを目的とし、地下鉄駅構内におけるアート作品創作による演出をおこなった。本学は東西線山駅を担当。	6名	無
2	観光まちづくり	2018. 4～2019. 3	福井県小浜市、兵庫県豊岡市	観光まちづくり演習授業において、1、小浜市 3、豊岡市における観光活性化のプランづくりのグループワーク 特に豊岡市からは、企画が評価され、現在も次のフェーズを検討中。	16名	有
3	大原野村町 飯導寺神社由緒看板デザイン	2018. 5～2018. 11	医療法人三幸会事業本部 須野原修二／飯導神社歴史保存会（仮称）	京都市左京区大原野村町にある飯導寺神社の由緒を記した看板の制作。地元の古老への取材は歴史遺産学科の学生が担当し、その内容をもとにしてイラストレーションの制作を行った。看板そのものは保存会が業者に発注した。	情報デザイン1名 歴史遺産2名	無
4	「教育情報出版」テキスト表紙デザイン	2018. 7～2018. 12	教育情報出版	教育情報出版が発行する大学テキストの表紙デザインのフォーマットを2タイプ制作。イラストレーションコース学生1名を指導し、プレゼンテーションからデータ納品まで行った。今後数年間に発行されるほとんどのテキストの表紙デザインとして採用される。他に年に1回発行される出版案内の表紙デザインも制作した。	1名	無
5	広島国際アニメーションフェスティバル	2018. 8. 23-27	広島市・国際アニメーションフィルム協会日本支部	(1)映画祭の展示ブースの設営に学生ボランティアとして参加 (2)フレームインコーナーで学生自身が自作の上映とプレゼンテーション	大学院生2名 学部生2名	無
6	ワコール商品（サービス）企画 ブランド構築／広告展開	2018. 9～2018. 12	株式会社ワコール	・ワコールの商品やサービス、売り場、ユーザーなどについてリサーチをした上で、ワコールがこれから新たに展開すべき商品やサービスの企画、広告の展開を考え制作する。 ・株式会社ワコールの商品開発や広報担当など複数名の社員にプレゼンテーションする。 ・リアルな仕事の流れに沿ったグラフィックデザインの仕事を体感することにより、職業として「グラフィックデザイナー」になる可能性や期待感を体感する。	28名	無
7	電通人権アートプロジェクト	2018. 9～2018. 12	株式会社電通	・毎年、株式会社電通が指定校と連携し、12月初旬に開催される人権週間に向け、ポスター制作を行う。 ・そのプロセスは、人権問題をいくつかのテーマに分け、テーマごとに電通のコピーライターが先行作成したキャッチコピーに学生がビジュアルを作成しポスターに仕上げる。 ・ポスター制作に関しては、電通のアートディレクターが数回にわたり、講義を通してアドバイスを行う。 ・最終的には、学内と電通（東京と関西）や他の公共施設で人権週間に展示される。	21名	無
8	T・ジョイ京都「スクリーンCM（シネアド）」プロジェクト	2018. 9～2019. 3	T・ジョイ京都	・シネマコンプレックスT・ジョイ京都において、映画本編前に流す30秒の広告映像の制作。 ・企画立案から映像の実製作まで取り組み、最優秀作品は実際に劇場で一年間上映される。 ・CMのテーマは毎年T・ジョイ京都側から提示される。2018年度はT・ジョイ京都のサービス企画「シネマ学割定期」の推進。	35名 （「表現演習F」8名 「情報デザイン基礎4A_B領域」27名	有
9	齊藤酒造ラベルデザイン	2018. 10～2018. 11	齊藤酒造（株）	京都、伏見の英敷・齊藤酒造株式会社との共同プロジェクト。齊藤酒造が扱う日本酒「鬼ころし」のラベル・デザインに、情報デザイン学科の3年生が挑んだ。当プロジェクトは継続中で、最終的には商品のラベルデザインとして、実際にカナダ・バンクーバーで流通される。	23名	有
10	スプリングパレーブルワリー京都× アーティストフェア京都PJ	2019. 1～2019. 2	スプリングパレーブルワリー京都	・アーティストフェア京都でのサテライト会場としてSVBで、「荒木悠展」が開催された。その際の広報物デザインを情報デザインの学生が担当 ・制作物 フライヤー のぼり 中庭サイン 会場タペストリー	2名	無
11	京甘味 文の助茶屋「わらび餅ようかん」の パッケージデザイン制作	2019. 1～2019. 2	京甘味 文の助茶屋	新たなターゲットに向けて「わらび餅ようかん」のパッケージデザイン制作をし、クライアントへ提案、プレゼンテーションする。優秀作品は実際に採用となり実制作を行う。	28名	無

映画学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	北白川派映画製作『嵐電』（鈴木卓爾組）	2017. 10～2019まで継続予定	※有限会社オムロと映画学科の共同製作	2017年、休止中であった映画学科の「北白川派プロジェクト」が待望の再スタート。その記念すべき第一弾として、監督に『ゲゲゲの女房』などの鈴木卓爾を迎え、京都の嵐山電車を舞台に「その電車に乗ったら二人は永遠に会えなくなる」という不思議な妖怪電車の都市伝説を絡めながら、男と女、人の出会いと別れを描く。撮影には京福電鉄、東映京都撮影所他、地元京都に愛され親しまれる関係各社が全面協力。主演は、北白川派映画では『彌勒』に続いて二度目の参加となる井浦新。また、北白川派第二弾『MADE IN JAPANーこらっ！ー』で在学中にデビューし、卒業後も活躍中の大西礼芳が凱旋出演を果たしている。2019 年度全国公開予定。	25名	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

2	北白川派映画製作『のさりの島』（山本起也組）	2018. 04-2020まで継続予定	※株式会社北白川派が製作 ※京都造形芸術大学、京都造形芸術大学京都造形芸術大学映画学科が製作協力 ※熊本県天草市、熊本県が製作助成	2017年、休止中であった映画学科の「北白川派プロジェクト」が待望の再スタート。その第二弾として『カミハテ商店』監督の山本起也が、未だ後を絶たない「オレオレ詐欺」をモチーフに、「誰もが、何かを信じたい」という人間の「希望」を描く。本映画の製作は、全編ロケを天草で行うのみならず、少子化・高齢化にともなう様々な課題を抱える地方都市の課題を解決することに少しでも映画製作が寄与できればと、天草の魅力をまとめた映像資料の製作やガイドブックなどの製作も同時に行っている。 2020年度全国公開予定。	19名	有
---	------------------------	---------------------	---	--	-----	---

空間演出デザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	京都ブランド「SOU・SOU」コラボレーションプロジェクト	2018. 4～2018. 7	若林株式会社 京都マルイ	SOU・SOUの名前を冠して空ブランドを立ち上げ、弥生時代に生まれた貫頭衣をベースに三重県の伝統工芸品である伊勢木綿を使用した服の企画・デザイン・制作を行い、店頭で販売・接客までを行う。企画から販売までのプロセスを学ぶ。	13名	有
2	高千穂町インターン生受け入れ事業	2018. 8. 20～2018. 8. 26	高千穂町集落未来づくり協働委員会	宮崎県高千穂町における空物件を活用した子どもカフェをNPO法人田原未来プロジェクトと共同で企画実施。年々高齢化と少子化による過疎化が進む中でイベントを行い地域に貢献する試み。子どもカフェで使うテーブルやベンチ、カウンターなどの什器類及び、暖簾や看板などのサインづくり、子どもたちに珈琲やお茶の入れ方、お菓子の作り方を教えるWSを実施。地方紙やケーブルTVに取材される。	6名	無
3	CHIMASKI ジュエリーデザイン、販売	2018年度後期	株CHIMASKI	CHIMASKIのジュエリーのエッセンスを取り込み、自身のフィルターを通過させプロダクトとして、アウトプットする演習。ものを仕上げるだけでなく、他者が欲しくなる理由や値段、新しい素材などについても実践する。	24名	有
4	パブリックインデザインとしてのディスプレイ	毎年	DMOアーツ・㈱UMMM とのコラボレーション	商業施設における販売促進のための空間演出デザインを㈱UMMMとともに実践的プロジェクトとして、社会発信していくことを目的としている。大阪のラジオ放送局FM802/FM COCOLOのアートギャラリーである、DMOアーツ協力のもと、ルクア1001（イーレ）にて展示販売を行った。本商業施設に足を運ぶ客層や、DMOアーツが狙う「アートを身近に手に取ってもらおう」というコンセプトを念頭に、「Renewal your eyes」をテーマ掲げ、商品の企画、空間設計、販促に至るまで、人のモノやコトが届くまでを学ぶ授業であった。	25名	有
5	海士町仮設博物館プロジェクト	-	海士町教育委員会	隠岐島海士町におけるフィールドワーク。リサーチと提案をベースにした活動。離島地域の課題を発見するためにコミュニケーションが誘発される催しを設定した。海士町からは化石の展示を依頼されたが、それだけにとどまらず、カフェグッズの提案も行った。	8名	有

環境デザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	Stamp!学生リフォームプロジェクト（16期・17期）	2018. 5～2019. 5	株式会社長栄	株式会社長栄が管理するマンションを学生のアイデアでリフォームするプロジェクト。学生は長栄のスタッフや施工業者の前でプレゼンテーションを行い、最優秀賞・優秀賞・特別賞が決定される。受賞作品は実際に施工され、市場で居住者を募集する。	16期12名 17期7名	有

こども芸術学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	左京・東山児童館学童保育所まつり	2018. 5. 19	京都市児童館学童連盟	左京・東山地域の児童館学童保育所の連携および地域支援として、宝ヶ池子どもの楽園にて毎年行われているまつり。ぶんぶんコマづくりワークショップでの出店。400人以上の子どもたち、親子が工作を楽しみ、学生との交流を行った。	10名	無
2	みらいっこまつり	2019. 12	京都市子育て支援総合センター こどもみらい館	京都市子育て支援総合センターこどもみらい館で行われる「みらいっこまつり」はコンサート・オルゴール演奏会・エアーマット・絵本リサイクル・缶バッジ・オリジナルカレンダー作り・赤ちゃんふれあいコーナーなどなど親子で楽しめる企画が盛りだくさんのイベント。参加人数 2,000名。	29名	無
3	女性のための健診DAY 京都市きれいフェスタ	2020. 1. 18	一般財団法人京都工場保健会	京都工場保健会は健康作りの取り組みの一つとしてイベントを2006年より開催している。健康への意識を高めること、生活習慣予防の重要性について広く発信すること、京都府民の健康寿命延伸を目的にしている。2018年度 参加人数 1,616名。	10名	無

キャラクターデザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	webメンテナンス	2016. 8～継続	株式会社WeBase 株式会社ユニモト	一昨年度に受託したプロジェクト（コミュニティホステル「WeBase鎌倉」を開業するにあたりメインロゴ、WEBサイトのアニメーション、館内サイン約60種を制作した。）から継続してホステル「webase」のWEBサイトメンテナンスを受注のうえ、株式会社ユニモトへ再外注している。	-	無
2	ホームページデザイン制作業務	2018. 1～2018. 4	株式会社IMKホールディングス	2018年1月より（株）IMKホールディングに客員教授マーク・パンサー氏が就任。同社とマーク氏との新たな事業展開にあたり、ホームページのデザイン作成を3回生池田真友に個別の依頼発注。受注テーマは「革新性」。同社のマーク・パンサー氏担当のホームページに池田個人プロデュースによるフリーで革新的なイラストデザインを制作。	1名	無
3	キャラクターデザイン委託業務	2018. 3～2018. 4	女子プロ野球リーグ 埼玉アストライア	日本女子プロ野球リーグ埼玉アストライアと京都造形芸術大学キャラクターデザイン学科は産学連携の取組として2018年シーズンより埼玉アストライア応援MCキャラクター「埼玉アスタマン(通称:アスタマン)」を共同企画プロデュース。キャラクターデザイン及びマスコミ造形制作をキャラクターデザイン学科にて担当。キャラクター形成論受講生や各ゼミより野球好きな学生による応募選考。キャラクターテーマは「創設6シーズン目を迎え、観客と一緒にスタンドを盛り上げるMC専門の新キャラクター」。	5名	無
4	暑中見舞書デザイン業務	2018. 4～2018. 7	株式会社レーサム	(株)レーサム様が送る暑中見舞いに使用されるイラストの制作。企業が運営している医療機関やホステル、パン屋さんなど、企業の取り組みがひと目でわかるように建物などを配置した架空の街並をイラストで再現し、そこにレーサム様の役員の方をはじめたくさんの方が集まっている様子を描いてほしいというリクエスト。短い期間での制作であったため背景を描く学生と、人物を描く学生の2名で制作を行った。	2名	無
5	「女子プロ野球オールスターゲーム2018」ユニフォーム及びロゴデザイン業務	2018. 4～2018. 7	一般社団法人 日本女子プロ野球機構	産学連携として一般社団法人日本女子プロ野球機構より2018年8月13日京セラドームで開催されるオールスターゲーム使用のユニフォーム及びロゴマークのデザインをキャラクターデザイン学科に協力依頼。学科内プロデュースゼミにてテーマ及び企画運営プロデュースを行い、イラストゼミでユニフォームデザイン、グラフィックゼミでロゴマークデザインを担当。3つのゼミ領域における相互連携協力からユニフォーム・デザイン企画及びロゴマークを提案。	45名	無

4-(1)-㉓ 産官学連携

6	動物キャラクター制作業務	2018. 4～2018. 9	株式会社MILIMILI	(株) MILIMILI様で作成するwebサイトに使用するためのキャラクターの制作。始めに3体のキャラクターを制作、企業にて1名にしばった上で最終的に16体の動物キャラクターを制作。キャラクターの違いは出すがモチーフとなる動物そのものがもつ怖いやかわいいというイメージに偏りすぎないように描く必要があった。色と動物の組みあわせで色がしっかりと認識されるような工夫をする必要があった。	1名 (第1案は25名)	無
7	ステッカーデザインの制作業務	2018. 10～2018. 12	株式会社B-SIDE LABEL	ステッカー業界のトップ企業であり、生徒の認知度も高い企業とのコラボ授業を実施。B-SIDE LABEL副社長でデザイン部主任である里本直紀氏、同社でトップ売り上げを誇る外部デザイナー、ハラダコウヘイ氏の特別講義の後、学生に「今売れるステッカーのデザイン」を制作させる。同社での販売可能なクオリティを目指し、優秀なデザインに関しては、実際に京都店での販売を目標とする。	23名	無

マンガ学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与 (人数)	単位認定
1	都をどりグッズ制作・販売	2018. 1. 10～2018. 4. 26 (撤収含む)	祇園甲部歌舞練場	都をどりin春秋座2018では、大学全体で力を合わせ取り組むということで、マンガ学科としては募集のあった全ての成果物に取り組んだ。都をどりグッズとしてマンガ学科の画力と企画力を生かし「しおり」「ピンズ」「パッチ」「LINE STAMP」を制作した。ウエルカムアートは人間館1F外回廊のガラス面を資料した4コママンガを2本制作し、HANAOSHOSHIOとコラボレーションした作品も制作した。カフェメニューにおいては「都つつみ」「よろこぶ茶」「花見もなか」「ほーじ茶ラテ」などを開発し、ホットドリンクのスリーブ制作、ポスターや動線の装飾なども行なった。	9名	無
2	「ARTS AND APES展」ポスターデザイン・展示装飾	2018. 11. 17～12. 21	京都造形芸術大学文明哲学研究所	ヒト以外ヒト科の描く「絵」(のような物)を展示することで「人間とは何か?芸術とは何か?」「ヒトはなぜ絵を描くのか?」という根源的な疑問に迫る展覧会の会場レイアウト、会場装飾物制作、展示什器デザイン・制作、広報物デザイン(ポスター・チラシ)などを担当した。	5名	無

歴史遺産学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与 (人数)	単位認定
1	和中庵庭園の調査と保存活用	2018. 04-2019. 03	京都ノートルダム女学院中学・高等学校	京都ノートルダム女学院中学・高等学校より、敷地内の近代住宅「和中庵」の保存・活用について協力依頼があった。そこで、歴史遺産学科の演習授業の一部として、2018年度より和中庵庭園の考古学的実習を行った。なお、2019年度も継続する予定。	D2生 1名 3回生 14名 2回生 6名	有
2	奈良県立民俗博物館所蔵資料の調査と保存修復	2018. 04-2019. 03	奈良県	奈良県立民俗博物館から所蔵資料の調査と保存修理について協力依頼があった。そこで同館との協定を締結し、歴史遺産学科の演習授業の一部として9点の保存修理を行ったものである。成果は本学の学生作品展ならびに奈良県立民俗博物館における展示で発表した。	3回生 4名	有

美術工芸学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与 (人数)	単位認定
1	DARUMA 横田株式会社	2018. 4～2018. 7	京都造形芸術大学	ダルマ印で有名な老舗の糸メーカー「DARUMA 横田株式会社」にお声がけし、産学協同プログラムのひとつとして授業を企画。ダルマ糸の製造工程の見学からスタートし、ひとつの製品が、どのような視点で企画、開発、製造され、流通に乗るのかなど、社長や工場長のお話を聞き、繊維メーカーのあり方、現在を知り、制作に活かす。	2018年度3年生 空間計画ゼミ生 11名	有
2	京都造形芸術大学×SOU・SOU×京都マルイ	2018. 4～2018. 7	京都マルイ	つくり、展示、販売するという一連の経験を積むことを目的としている。手ぬぐいデザインを考える、会場のレイアウト、販売促進、経理、連絡、プレス対応、モノが出来上がるまでの「コスト」を正確に把握するなど、たくさんの仕事をこなす。とすれば「つくること」一辺倒になりがちな芸大の授業のなかで、ものづくりの周辺には多くの仕事があり、その枠組みのなかでモノは動いていることを知る。	16名	有
3	ARTCOM2018	2018. 07	京都府精華町けいはんな記念公園	地域文化と芸術の社会還元を行うにあたり、京都府文化学研都市における水景園での野外彫刻展ARTCOM2018の展覧会を実施。広く科学技術研究都市の文化市場と芸術との推進を深め、あらたな展望を模索している。1999年来から4芸大合同展覧会がスタートし、現在まで形態を変えながら、欠かさず毎年開催を続けている。立体の持つ魅力を野外で鑑賞していただき、自然との共管をもとめることは一般の方には広く親しまれたイベントになっている。	26名	有
4	「縄文アート」体験授業	2018. 07	茅野市公民館	茅野市公民館及び教育委員会、尖石縄文考古館が地元の小、中、高校生向けに年1回行う体験授業。2018年度は午前中に縄文土器に触れるなど、文様に特化した鑑賞教育を行う。午後からは、「縄文国の国旗をつくろう」というワークショップを実施。縄文土器に施される文様から想起し、布に文様を、天然の顔料でプリントし、縄文の国に国旗があったならば、と創造し、国旗を制作した。講評を行った。体験授業終了後、小、中、高校の教員研修で体験授業の振り返りと教育現場からの報告を共有した。	TA(ティーチングアシスタント)として染織テキストスタイルコースの学生2名	無
5	イベントプログラムの企画・運営	2018/8/18・19	I N A Xライブミュージアム	I N A Xライブミュージアムは、どろんこ館をはじめ、「土」「火」「水」といった自然素材との触れ合いを子供たちや親に対して、積極的な関わりを提案しているミュージアムである。本学美術工芸学科総合造形コースの取り組みにも高い評価を頂き、継続的連携を進め7年目を迎えている。昨年度は美術工芸学科総合造形、油画コースの教員と学生がイベントプログラムの企画・運営に携わり、イベント開催期間中は、現地でワークショップを行っている。I N A Xライブミュージアム恒例の、夏の人気企画として根ずいて来ている。	10名	無
6	鹿児島県涌水町ワークショップ	2019. 8/25～29	鹿児島県涌水町スタジオアート霧島	鹿児島県涌水町で毎年開催されている涌水の宴祭りへの委託企画としてスタジオアート霧島と共同での産学公事業。陶芸教室、現地の竹材を使った野外彫刻作品の制作展示、作品のマルシェ販売を行う。涌水町は多年芸術による町づくりに取り組んでおり、これまでも本学卒業生の作品も多数、町内に展示されている。今回で3回目の参加となり、学生の感性を生かしたワークショップ、現地制作を通じ、涌水町の人たちとの交流をもち、芸術の社会性について体験する。	6名	無

舞台芸術学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与 (人数)	単位認定
1	キャリア研究	2018. 8～2018. 9	四季株式会社(劇団四季)	各学生が舞台監督、照明、音響、衣装部門に分かれて、公演運営スタッフとしてプリセット、上演中のオペレーション、終演後作業など公演運営に関わる一連の活動に従事する。衣装部門においては、劇団四季あざみ野工房において新作(当時)「リトルマーメイド」の衣装製作に携わる。	5名	有

アートプロデュース学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与 (人数)	単位認定
1	豊中市所蔵作品展	2018年4月～9月 会期: 8/11(土)～9/12(水)	豊中市	2017年1月に開館した豊中市立文化芸術センターは、音楽ホール、練習室、展示室、多目的室を有する複合的な文化発信拠点である。音楽ホールをメインとする特徴から、音楽企画を専門とするスタッフが多く、「展示形式」の施設利用数が少ないことが課題とされている。本プロジェクトでは、豊中市より委託を受け、「豊中市所蔵作品展 Good morning」を学生9名と共に企画し会場構成、作品選定、展示作業を行った。市の全所蔵作品のなかから、展示コンセプトにふさわしい25作品を5つの章で構成した。	9名	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

2	「なら国際映画祭」事業評価のための基礎調査	2018年9月～2019年2月	NPO法人なら国際映画祭実行委員会	2010年から隔年で開催されている「なら国際映画祭」は映画関係者には評判が高いものの、奈良という地域に対する影響・貢献がみえにくく、奈良市からの補助金がカットされた年もあった。そのため、なら国際映画祭実行委員会からの委託をうけ、学生4名とともに「なら国際映画祭2018」の来場者、ボランティアを調査対象に、奈良という地域への成果および波及効果をはかる調査と調査結果の分析を行った。ゼロからのアンケート設計から行い、ネットおよび現地での聞き取り調査を行い、詳細な分析を行った。	12名	無
---	-----------------------	-----------------	-------------------	---	-----	---

4-(1)-⑬ 産官学連携

日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	芸術館所蔵 拓本の額装	2018. 4. 1～ 2019. 3. 31	京都造形芸術大学 芸術館	※学内業務 芸術館所蔵の拓本資料額装作業。	有（院生3名/学部1名）	無
2	真田山旧陸軍墓地の墓石に関する調査および強化処理	2018. 4. 1～2019. 3. 31	公益財団法人 真田山陸軍墓地維持会	真田山旧陸軍墓地における墓石の劣化状態調査結果に基づくC～Dランク墓石の強化処理の研究を行う。	無	無
3	田川市 酸性紙・ブルーブラックインク劣化メカニズムおよび処置方法検討の為の 共同研究	2018. 4. 1～ 2019. 3. 31	田川市	近現代紙資料およびブルーブラックインクに対する処置方法を、共同で研究する。	有（院生1名）	無
4	頼山陽書斎山茶水明處 小襖2面 保全処置	2018. 4. 1～2018. 8. 27	一般財団法人頼山陽旧跡保存 会	頼山陽書斎山茶水明處の小襖2面保全処置。	有（院生2名）	無
5	「学校収蔵民具の再発見事業」普及啓発事業	2018. 4. 7～2019. 3. 31	学校収蔵民具の再発見事業実 行委員会	パネル展「学校収蔵民具の紹介展」におけるパネル製作・展示準備作業補助。	有（院生2名/学部6名）	無
6	平成30年度 宇治市名勝総合調査「宇治の名勝地」現状調査研究委託業務	2018. 4. 27-H31. 3. 22	宇治市	宇治市における名勝候補地について、所在、現状基礎ならびに文献資料等を把握し、現地調査を行ったうえで、資料の精査とりまとめを行うことを委託された。また、松殿山荘の現状把握を進める上で昨年行った調査資料の検討整理を図り、一定の取りまとめを行うことを委託された。	2名 (卒業生含)	無
7	名勝会津松平氏庭園池護岸修復及び修復記録作成業務委託	2018. 5. 1-H31. 3. 15	会津若松市	福島県会津若松市に所在する名勝御薬園において、平成28・29年度に実施した西池護岸及び御茶屋御殿南側の試掘調査結果に基づき、西池護岸の修復とその記録、ならびに修復後の地形記録を実施することを委託された。	2名 (卒業生含)	無
8	平成30年度京都御苑桂宮邸跡庭園調査業務	2018. 5. 18-H31. 3. 22	環境省自然環境局 京都御苑管理事務所	京都御苑内桂宮邸跡敷地において、現存する庭園遺構の歴史歴な経緯・変遷について現地調査等により把握し、歴史的価値の再評価や今後の保存や公開の在り方に資する基礎資料作りを委託された。	9名 (卒業生含)	無
9	国立民族学博物館「標本資料の保存管理手法の研究」	2018. 5. 21～2019. 1. 31	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館	国立民族学博物館所蔵の標本資料について、館から支給されるマニュアルに基づいて資料の材質・状態調査を行い、資料の破損・劣化箇所等を「点検情報基本カード」に記録し、保存科学研究の基礎データを作成する。	有（院生3名/学部8名）	無
10	洛西の庭園文化	2018. 5. 29-H31. 3. 31	京都府立京都学・歴史館	京都文化の発展と機能強化をめざすため、洛西地域に存在する豊かな文化資源について状況調査し、他地域との比較検討等を行い、その意義を究明し活用方策を検討することを委託された。	1名 (学部生)	無
11	彦根城博物館内庭園修景整備委託業務	2018. 6. 1-H31. 2. 28	彦根市教育委員会	滋賀県彦根市に所在する彦根城博物館（表御殿）の庭園は発掘調査と古絵図を基に復元した庭園があり、彦根を代表する大名庭園である。この庭園の修景と適切な維持管理を図るため、主要樹木の剪定等および博物館作業員への技術指導を行うことを委託された。	1名 (卒業生)	無
12	名勝柴田氏庭園植栽整備指導業務	2018. 7. 5-H31. 3. 22	敦賀市	福井県敦賀市に所在する豪農の屋敷であった柴田家の名勝柴田氏庭園において、名勝庭園本来の姿・魅力を取り戻すための整備を行なうにあたり、必要な設計等を行うとともに、専門の見地からの指導及び助言を行い、保全整備委員会の運営を支援することを委託された。	1名 (卒業生)	無
13	H30名勝玄宮楽々園植栽整備委託業務	2018. 7. 10-H31. 3. 26	彦根市	滋賀県彦根市に所在する国宝彦根城の下屋敷であり、名勝に指定されている玄宮楽々園において、植栽に特化した修復剪定を委託されたものである。国宝ならびに名勝にふさわしい植栽景観を維持するため、主に松の剪定を実施することを委託された。	1名 (卒業生)	無
14	平成30年度 名勝庭園管理アドバイザー委託業務	2018. 7. 10-H31. 3. 26	彦根市教育委員会	滋賀県彦根市に所在する国宝彦根城及び下屋敷の名勝玄宮楽々園において管理作業に従事する常設作業員に対し、文化財管理に携わる心得、管理技術を指導するとともに、植栽においては剪定技術講習を実施することを委託された。	1名 (卒業生)	無
15	旧安川邸庭園実施設計に伴う指導等委託業務	2018. 7. 16-H31. 3. 4	株式会社セプト設計コンサル タント	北九州市に所在する安川電機の創設者の屋敷であった安川家の旧安川邸の建物周辺に展開する庭園の復元的整備、改修整備等に係る助言指導を行うことを委託された。また、助言を行う際、適宜追加調査を行い、事業推進に必要な検討事項が生じた場合等、適宜助言指導を行うよう委託された。	2名 (卒業生)	無
16	ガラス乾板のデータ整理およびデータベース作成	2018. 8. 1～2019. 3. 29	京都国立博物館	京都国立博物館所蔵のガラス乾板のデータ整理およびデータベース作成。	無	無
17	平成30年度日本万国博覧会記念公園日本庭園における庭園景観創出管理技術の公開講習会	2018. 8. 1-H31. 3. 30	阪神造園建設業協同組合	日本万国博覧会記念機構策定「日本万国博覧会記念公園 日本庭園改修基本計画平成19年度」に基づき、日本万国博覧会記念公園日本庭園に設定されているゾーン毎の修景管理を、年間2回の講習会の講師として参加して指導を実施することを委託された。	1名 (卒業生)	無
18	平成30年度日本万国博覧会記念公園日本庭園植栽等景観創出業務	2018. 8. 1-H31. 3. 31	阪神造園建設業協同組合	大阪府から受託した「日本万国博覧会記念公園日本庭園植栽等景観創出業務」に基づき、日本万国博覧会記念公園日本庭園において年2回の修景委管理方法を指導することを委託された。	1名 (卒業生)	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

19	日本万国博覧会記念公園 日本庭園景観整備方針検討委託	2018. 10. 10-H31. 2. 28	大阪府日本万国博覧会記念公園事務所	本業務は、1970年に開催された日本万国博覧会において日本政府の出展施設として、当時の造園技術の粋を集めてつくられた日本庭園の更なる庭園美を創出することを目標として、主要景観・見所ポイントである等（16景58視点場とそのつなぎ空間及び外周林）に関して、現況の景観を調査し、作庭意図、課題等を整理した上で、植栽及び岩組、流れ、園路等の修景施設を含めた景観整備の方針の策定を立案し、今後の植栽管理の基準を示すことを目的に委託された。	1名 (卒業生)	無
20	旧栖原家の資料整理作業	2018. 11. 5～2019. 3. 22	和歌山県湯浅町	醤油醸造家（旧栖原家）旧蔵の民俗資料にかかる既往調査（和歌山県教育委員会実施、時期不明）の整理と現存確認の実施、および未調査資料の概要把握を行い、継続して未調査資料の調査を実施できるよう整理する。	無	無
21	名勝正善院庭園整備事業に係る委員会出席	2018. 11. 10-H31. 2. 10	一般財団法人京都伝統建築技術協会	鳥取県東伯郡三朝町に所在する名勝及び史跡三徳山の三佛寺の三院のひとつである正善院の名勝正善院庭園整備事業において、設置されている専門委員会への出席と、資料提供を委託された。	1名 (卒業生)	無
22	平成30年度京都御苑桂宮邸跡庭園調査業務	2018. 12. 5-H31. 3. 29	環境省自然環境局 京都御苑管理事務所	京都御苑内桂宮邸跡敷地において、現存する庭園遺構の歴史歴な経緯・変遷について現地調査等により把握し、歴史的価値の再評価や今後の保存や公開の在り方に資する基礎資料作りを委託された。第3次発掘調査に続き、第4次発掘調査を実施することになったことから、加えて立会い、検証を行うこととなった。	1名 (卒業生)	無
23	H30玄宮園護岸保存整備工事工事監理委託	2018. 12. 6-H31. 3. 26	彦根市	滋賀県彦根市に所在する名勝玄宮楽々園においける整備事業の一環で、玄宮園護岸(第4工区)において保存整備工事を行うにあたり、施工計画を検討し、竣工確認への立会い等の工事監理と、技術指導を行うよう委託された。	1名 (卒業生)	無
24	史跡宇治川太閤堤跡石積み護岸・石出し遺構再現整備及び工事監理委託業務	2018. 12. 12-H31. 3. 31	宇治市	史跡宇治川太閤堤跡は京都盆地東部に流れる宇治川の右岸に16世紀に豊臣秀吉によって築造された護岸と水制工である。平成19年度以降の発掘調査によって得られた史跡宇治川太閤堤跡の護岸遺構情報に基づき、保護した遺構の同位置上部に護岸遺構の一部の再現整備を行うとともに、工事の監理業務一式を委託された。また、並行して実施しているパネル再現施工等の一連の工事に関しても助言指導を行うよう委託された。	14名 (卒業生含)	無
25	平成30年度 霊鑑寺の庭の実測調査研究業務	2018. 12. 18-H31. 3. 29	京都市	京都市内に所在する名勝を京都市文化財保護条約に基づく指定等の候補地として、審議会に諮問するための基礎となる資料を作成するとともに、本年度以降の候補地の選出実施を委託された。	1名 (卒業生)	無
26	墨仙堂 岐阜県美術館 猪熊弦一郎筆 紙本着色「猫（1）」本紙（マクリ）1枚 色材等 蛍光X線分析	2019. 2. 28	有限会社 墨仙堂	岐阜県美術館 猪熊弦一郎筆 紙本着色「猫（1）」本紙の色材等を蛍光X線を用いて分析する。	無	無
27	高畑町裁判所跡地整備工事監理業務（高畑町周辺地区整備事業（社会資本）（主プロ））	2019. 3. 28-H32. 3. 19	奈良県	奈良市に所在する高畑町裁判所跡地は浮見堂や鷺池と一体となった良好な風致景観が評価され、昭和2年に名勝奈良公園に追加指定された。大正期に作庭された庭園が良好に現存しており、日本を代表する文化人が茶の湯文化を通じて交流を図った場であることなど価値評価がなされている。庭園を復元し、その価値を維持・利活用するため、専門分野の機関として助言、指導、工事監理を行うよう委託された。	2名 (卒業生含)	無